

入選

小さな勇気とありがとう

福島県 玉井小学校

5年 影山結菜

私の家には、3歳になる「ソル」という犬がいます。父が一目ぼれをして買った犬です。とてもかわいくて、家族みんなで大切に飼っています。私の隣の家には、もうすぐ90歳になるおじいさんが一人暮らしをしています。そして、私の家のソルと同じ年くらいの「トム」という犬を飼っています。

私たちがソルの散歩に行くと、トムはいつも柵の間から顔を出して、「いいな、いいな。僕も散歩に行きたいな」という顔をして私たちを見てきます。父も母も、あまり散歩に行けてないであろうトムのことを心配していました。

ある日、母が、「トムのおじいさんの家に行って、お散歩のお手伝いをさせてって言ってきてみようか。」と提案してきました。私も同じ気持ちだったので、いっしょにおじいさんの家に行くことにしました。しかし、その一方で、ことわられてしまうのではないかと、少し不安な気持ちになりました。

私はドキドキしながら、げんかんのチャイムを鳴らしました。すると、おじいさんが出てきて、母が「こんにちは。となりの家の影山といいます。私の家でも犬を飼っていて、家族みんな犬が大好きなんです。もしよかったら、トムくんのお散歩のお手伝いをさせてもらえないでしょうか。」とおじいさんに言いました。

おじいさんは、とても驚いた顔をして、「いいよ、いいよ。いうことを聞かなくて大変だし、体が大きいから力もあるし。たまに少しだけ散歩するんだけど、負けちゃって、よく逃げられちゃうんだよね。」と、やはり最初はことわられてしまいました。

でも私は、トムのことが気になっていたので、「ちょっとさわらせてもらっていいですか。」と、おじいさんにたずね、トムに声をかけてさわらせてもらいました。予想通り、トムは毛がモフモフしていました。そして、人なつっこく、とてもかわいかったので、母に私も散歩に連れていきたいと伝えました。

すると母が、「うちの子たちもトムくんと遊びたいし、私も運動不足なのでぜひ行かせてください。」とおじいさんに何度も言いました。すると、おじいさんは、「じゃ、おねがいしてもいいかな。ありがとう。」と、照れくさそうに喜んでいました。

散歩の後のおじいさんとトムの喜んだ顔を見て、二人を助けることができたと思い、私は心がとてもほっこりしました。そして、うれしくて幸せな気持ちになりました。勇気を出して、おじいさんの家に行ってよかったなと心から思います。

ありがとうの言葉は、人を幸せにする力を持っていると感じました。これからも、いろいろな人を助けて、私も幸せな気持ちを感じることができたらいいなと思います。